



世界が認めた大豆タンパク

子豚に最適なタンパク源を。



酵素処理脱皮大豆油かす

**HP300 / HP800**

嗜好性  
アップ

栄養阻害因子を最大限に削減。  
嗜好性に優れ、離乳期における子豚の成長促進に貢献します。

# HP300・HP800は、長年培われた 独自製法により加工された大豆タンパク質です。

## 1. 栄養阻害因子が少ない

- ①タンパク質分解酵素であるトリプシンの作用を阻害するトリプシン**インヒビター**が少ない。
- ②難消化性(下痢のリスク)や発酵性(ガスの発生)の**オリゴ糖**が少ない。
- ③栄養吸収・消化率を低下させたり、下痢を引き起こしたりする恐れのある**β-コングリシニン**が少ない。

子豚にとって最適なタンパク源です!

大豆由来製品の栄養組成と栄養阻害因子

※乾物ベース

	全脂大豆	大豆粕 (ハイプロ)	発酵大豆	濃縮大豆 タンパク	HP300 HP800
粗脂肪(%)	21.5	1.5	2.5	0.5	3.0
炭水化物(%)	28.5	35.5	29.5	18.5	25.0
粗繊維(%)	3.0	4.0	4.5	4.5	3.5
粗タンパク質(%)	42.0	53.0	56.0	70.0	61.0
粗灰分(%)	5.0	6.0	7.5	6.5	7.5
トリプシンインヒビター (mg/タンパク質1g中)	10-25	4-8	3-8	2-3	2-3
オリゴ糖					
スタキオース(%)	4-4.5	4.5-5	1-5	1-3	<0.5
ラフィノース(%)	0.8-1	1-1.2	0.2-1.2	<0.2	<0.1
スクロース(%)	5-6.5	6-8	0-3	<0.1	<0.1
抗原					
β-コングリシニン(mg/g)	50-100	10-50	1-10	0.002	0.002

## 2. 動物由来タンパク質に劣らない性能

動物性タンパク質に比べても遜色ない性能を発揮し、置き換えても成長・発育に問題はありません。

- 1区36~44頭の子豚を使用
- 試験を8回反復
- 計1,325頭の子豚使用
- 離乳後35日間

出典: Trial at University of Warmia and Mazury, Poland

HP800と血漿タンパクの置き換え試験

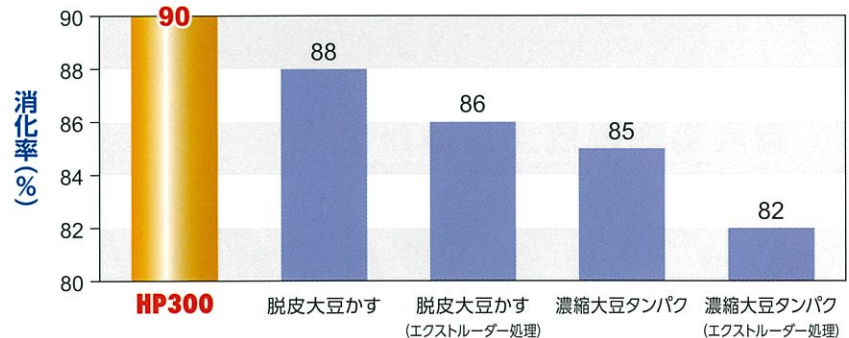
	対照区	試験区 1	試験区 2	試験区 3
HP800(%)	0	10	15	23.20
血漿タンパク(%)	3.0	2.0	1.0	0
一日平均飼料摂取量(kg)	0.457	0.461	0.463	0.463
一日平均増体重(kg)	0.322	0.325	0.318	0.326
飼料要求率	1.50	1.49	1.49	1.46
事故率(%)	7.1	6.5	3.0	3.4
均一性(%)	1.69a	1.42b	1.38b	1.44b

## 3. 他的大豆由来タンパク質に比べても高い性能

回腸消化率(SID)が高く、離乳期における子豚の成長促進に貢献します。

- 42日齢の子豚を使用して、各大豆由来タンパク質の消化率を計測した
- 試験を15回反復

総括: Danish Pig Research centre  
分析機関: イリノイ大学(ハンス・スタイン博士)



包装 ■ 25kg/袋 推奨添加率 ■ 10~20%

製造元 HAMLET  PROTEIN (ハムレット プロテイン社)

輸入  
発売元  株式会社ワイピーテック

<http://www.yptech.co.jp/>

本社: 東京都千代田区有楽町1丁目10番地1号 有楽町ビル5F TEL.03-3214-7330 FAX.03-3214-6731  
札幌営業所: 北海道札幌市厚別区厚別北三条5丁目14番16号  
帯広営業所: 北海道帯広市東1条1丁目1番地東1条ビル3階C号  
福岡営業所: 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 JPR博多ビル9F TEL.092-437-3201 FAX.092-472-7794

取扱店